

教育計画

【教育目標】

「真実」「克己」「規律」の校訓のもとに、日々の学校生活をとおして、心身共に健康な人間を育成する

【教育方針】

- 真実と正義を求め、人格を尊重し合う人間としての資質の伸長を図る
- 己に打ち克ち勉勵に努め、自主・自律の精神の育成を図る
- 社会的秩序や調和を重んじ、相互啓発・相互鍛錬に努める気風の育成を図る
- 地域社会と関わる体験をとおして、郷土愛を育む意識の高揚を図る

【本年度経営方針】

I 基本姿勢

キャリア教育的な考え方をベースにした指導や地域と連携した教育活動を展開することにより、社会の一員としての自己を理解し、夢の実現に向けて取り組む明るく活力ある生徒を育成する

<目指す学校像>

- 生徒と教職員が元気で活気あふれる学校
- 生徒が安全に安心して学ぶことができる学校
- 生徒に学ぶ喜びを感じさせ、生きる力を伸ばす学校
- 入学した生徒全員が進路を決めて卒業できる学校
- 地域の人々から応援してもらえる学校

II 重点実施事項

1 各教科・科目の指導と授業改善について

- 全教職員が共通意識を持ち、授業の開始時・終了時の服装・礼法指導・ベル即授業を徹底する。
- キャリア教育の視点（学ぶ・生きる・働く）を意識した指導を展開する。
- 学校設定科目「五高ベーシック」や朝学習の充実・改善を図り、分かる喜びにつなげる。生徒一人一人に応じた学習の充実と確かな基礎学力の定着を図る。
- 五高の探究活動を地域との繋がりを意識しながら推進する。
- インクルーシブ教育を推進し、障がいに対する理解や共生意識を醸成する。
- 生徒の主體的・対話的で深い学びを目指してICTの有効活用を推進し、ユニバーサルデザインを踏まえた授業改善に努める。
- 他者との関わりを通して主體的に問題を解決する探究型授業の充実を図る。

2 進路指導について

- 保護者との連携を保ち、3年間を見通した進路指導を推進し、早い段階からの進路意識の高揚を図る。
- 個に応じたきめ細かい進路指導を行い、3年生全員の進路先決定を目指す。
- 全員参加のインターンシップにより、実践的なキャリア教育を推進する。
- 資格取得を奨励し、五高サポーター制度を活用して積極的に支援する。
- 進学及び就職先の開拓に努める。特に国公立大と看護系の進学の可能性を広げるため、志望生徒を育てるための働きかけを積極的に行う。また、大学との連携や大学入試改革研究に取り組む。
- 進路先の追跡調査を行い、離職防止等進路指導の改善につなげる。

3 生活指導について

- 生徒一人ひとりの行動を見守り、個人面談や日常的な声掛けを行うことにより、厳しくかつ丁寧で温かい指導を教職員皆で行う。
- いじめ〇（ゼロ）を目指し、本校いじめ防止基本方針に則り、予防と早期発見、組織での早期対応に努める。
- 問題行動に対して全教職員の共通理解を図り、問題行動を起こさせない予防指導（事前指導）を推進する。
- 全校一斉の整容指導を定期的・組織的に徹底する。また日常的に、挨拶やマナー指導について継続的な指導、定期的な検証を行い、規律ある生活習慣を確立する。
- 清掃指導を徹底し、生活環境の保全を図るとともに、清掃活動を通して社会性や公共性を育成する。
- 教育相談機能の充実を図るとともに、生徒の変化を複数の目で捉え情報を共有する。
- 自己肯定感・自己有用感を育成させるとともに、集団生活における約束・規則を遵守することの大切さを自覚させた上で集団の一員としての帰属意識を高め、自己指導能力の身長を図るための活動の充実を図る。

4 特別活動・部活動等について

- 創立80周年の記念行事等の充実を図り活力ある教育活動を推進し豊かな人間性を育む。
- 生徒会執行部を核とした、生徒による自主的な生徒会活動を支援する。
- 部活動への参加を奨励し活性化を図る。日々の活動をとおして相互錬磨を図り達成感を醸成する。
- 地域貢献活動等で積極的に地域に飛び出し、他に認められる喜びを経験させ、自ら社会に貢献しようとする態度を育成する。

5 職員研修について

- 「教科・科目の中でのキャリア教育の進め方」を研究し推進を図る。
- 「主体的・対話的で深い学び」についての理解を深め、生徒主体の学習形態を組織的に研究する。
- 校内授業研修、生徒による授業アンケートを実施し、授業改善を図る。中高学習指導研究協議会や近隣中学校授業公開へ積極的に参加し、また効果的なオープン授業デーの在り方を工夫する。
- 特別支援教育について、高校生学校生活サポート事業連絡協議会の伝達研修等により職員研修を深める。

6 情報発信について

- 各種たより・HP・フォトニュース・PTA会合等、機会を捉えて学校の教育活動を紹介し、保護者や地域の人々から理解と協力を得られるように努める。また、部活動大会日程や学校行事等、常に新しい情報を発信する。

7 教育公務員としての自覚について

- 教育公務員としての責任を自覚し、道路交通法を守り交通事故に注意し、金銭や会計処理、個人情報等の管理を厳格にして不祥事や不正を根絶し、生徒や保護者、地域からの信頼を得られるよう行動する。